

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 1月 27日

公表:令和 5年 2月 25日

事業所名:チャイルドハート東海とよた

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	法令を遵守したスペースを確保しつつ、空間を最大限活用しております。利用者数が多い日は、外出をするなどして三密を防いでおります。	
	2 職員の配置数は適切である	10	0	法令で必要とされている職員数を配置しております。公認心理師又は作業療法士を1名以上配置(常勤換算算定にて)しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	6	段差などを通るときには事前に声かけを行っております。また、介助が必要な児童には必ずスタッフが介助を行い、怪我等が無いよう配慮しております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	3	情報共有を全ての職員が把握できるようノートを活用し、広く職員が参画できるよう配慮しております。支援の振り返り、支援内容の向上、支援の改善を日々のミーティングで話し合い、職員間で共有しています。	翌日や当日の夕方等、忘れないうちに対応や対策などについて話し合い改善に努めます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、今後も業務改善に繋げていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	HPIにて公開しています。	保護者様に向けてHPでの公開の通知・伝達を行っています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	8		外部の第三者評価は行っていません。必要に応じて検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3	毎月研修へ参加しております。外部での研修も積極的に参加させて頂いております。	非常勤職員も幅広く資質向上できるよう、社内研修や外部研修の機会を設けて資質向上に努めていきます。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	計画期間ごとにアセスメントをとった上で計画書を作成しています。	コロナ禍により対面での面談を控えおりましたが、次年度より対面での面談を行って参ります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	統一したアセスメントシートを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	スタッフの個々の強みを活かし、職員全体で立案をし支援に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	曜日ごとに、お子様の特性や興味関心に合わせて、活動を内容を決めて支援をしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	日々に応じた支援を実施しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	お子様、保護者様、スタッフ全員からの情報を元に、長期目標・短期目標を設定した個別支援計画書を策定しています。	常勤・非常勤職員の中で明確に役割分担をし、より良い支援に繋げていく事を目標としています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	4	送迎等の兼ね合いにより出来ないことがあります、その場合は個別で伝えています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4	当日中にできる限り支援の振り返りをしていますが、非常勤職員など対面で振り返りができないことがあります。その場合は共有ノートや翌日に話し合い、振り返りを行って共有しています。	支援終了後、送迎の無い職員間で振り返りを行っています。その後、常勤職員で再度振り返りを行う体制を整えています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	毎日支援記録をとり、日々の支援を見直しています。	職員の主観ではなく計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めて参ります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0	HUGシステムを活用し定期的な保護者様とのモニタリングの実施、計画の見直しを行っております。	送迎時の相談事例も踏まえながらモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しに努めています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	1	ガイドラインをいつでも閲覧できる環境に置き、職員が常時確認できる体制を整えています。	非常勤職員にも周知を徹底していけるよう努めて参ります。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	児童発達支援管理責任者と公認心理師の2名で参加しています。	今後は決まった職員だけでなく、そのお子様に精通したスタッフが幅広く参加出来るようにしていきたいと考えています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0	各学校の先生方と送迎時に支援に関する事や学校・事業所での様子を話し合い相互理解を深めています。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	5		現在は受け入れておりません。	
関係機関や関係	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	6	保護者様を通じて情報提供をお願いしていますが、今後はより相互理解に深めていかなくてはと考えています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	5		現在、該当者はいませんが今後該当者が存在した時には、保護者様の許可を得てから情報を共有する等していく予定です。

保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	常勤職員が参加しています。	今後も可能な限り参加していく予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	7		社会情勢を踏まえた上で、今後機会があれば交流していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	6		中止が続いていますが、開催された時には参加をしていく予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎時などに保護者様へお子様の様子をフィードバックをしています。また日々の様子をHUGシステムを通して、開示しお子様の発達の様子を写真をお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4	電話相談等を通して、ご家庭での対応方法などについてアドバイスをしています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	1	契約時にご説明すると共に事業所内に重要書類を掲示しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	2		送迎時などで対応できない場合は、別途時間を設けて対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8	コロナ渦前は年2回ほど行っておりました。	社会情勢を踏まえた上で、今後は実施を検討していく予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	1	苦情報告書を活用し、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	3	活動概要や行事予定は公式ラインやHUGシステムを活用し発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	9	1	重要書類は鍵付き書庫に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	絵カードやジェスチャーなど非言語的コミュニケーションなどの活用、保護者様とはライン、電話、HUGシステム等を使用しています。お子さま、保護者さまに合った情報伝達を行っております。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		社会情勢を踏まえたうえで開かれた事業所運営を目指していきたいと思っております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	2		定期的に発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	最低半年に1回以上実施しています。	火災・地震等災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	1	入社時に周知に努めています。	虐待防止委員会の開催を通して、全職員の意識向上に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	3	該当する児童はいませんが、契約時、説明を行っております。すぐに対応ができるようマニュアルや記録の整備も行ってあります。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	6	全てのお子さまへのアレルギーの有無を確認しています。	食物アレルギーのあるお子様は利用になっておりませんが、今後受け入れる事があれば医師の指示書に基づいて対応していきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し職員間での共有を徹底しています。		